

平成 28 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	スロー地震学
領域代表者	小原 一成（東京大学・地震研究所・教授）
研究期間	平成 28 年度～平成 32 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、スロースリップイベント(SSE)や低周波微動に代表される「スロー地震」に着目して、低速変形と高速すべりの統一的理解によって地震研究を再構築することを目的とする。地球物理学的観測と物質科学的分析などを結びつけて、スロー地震の発生様式、発生環境、発生原理を明らかにすることは、スロー地震だけでなく、大きな災害をもたらす巨大地震も含めた断層面という場における破壊現象と流動現象に関する理解を深めるものであり、その学術的意義は大きいと評価できる。また、スロー地震と巨大地震との関連を明らかにすることは、巨大地震発生の長期評価などを通して防災・減災のための基礎情報を提供することにもつながると期待される。</p> <p>研究組織については、領域代表者をはじめとしてスロー地震の研究で世界をリードする我が国の研究者が各計画研究に配置されるとともに、地震学以外からも、測地学、地質学、岩石学、非平衡物理学、ソフトマター物理学などの幅広い分野の研究者が参加し、領域研究を効果的に推進する体制が構築されていると認められる。また、本研究領域と関係する諸機関やプロジェクトとの連携、設備の共用化などを考慮に入れた研究計画になっており、研究を効率的に推進するための準備が整っていると判断される。</p>